

## 足す数と足される数（たすかず・ たされるかず）「足し算のきまり」

### 足（た）す数とは

はじめに、おりがみを 15まい 持(も)っています。お兄さんから 28まいの おりがみを もらいました。

「はじめに もっていた 15まい」と「もらった 28まい」、あわせていま 持っている おりがみが 何(なん)まい あるかを 考えるので、足し算の 計算を するよね。

はじめに 持っていた おりがみから 28まい 増(ふ)えたので、いま持っている まい数(すう)を 計算するには、「28を足す」という計算を しないと いけないね。

このように、あとから 増える数字(すうじ)を 「足す数」と言うよ。

### 足（た）される数（かず）とは

はじめに、おりがみを 15まい 持(も)っています。お兄さんから 28まいの おりがみを もらいました。

はじめに 15まい 持っていたよ。

この「15まい」に、もらった おりがみの まい数を 「足される」といまもっている まい数を 計算することが できたよね。



このように、足し算をする前の はじめの数字を 「足（た）される数か  
ず」と言うよ。

足される数	足す数	答え		
$15$	$+$	$28$	$=$	$\square$

かんたんに 言うと、「足す」の前まへの 数が 「足される数」、 「足  
す」の後うしろの 数が 「足す数」と いうことだね。

ちなみに、 この計算は できたかな？

筆算（ひっさん）で 計算してみよう。 筆算で 計算するときの ポイン  
トを 覚（おぼ）えているかな？

一の位くらいから 計算を する。

10を こえたときは、繰（く）り上あがりを 考える。

（一の位くらい）  $5 + 8 = 13$

一の位くらいが 10を こえたので、 十の位を 1だけ 繰り上あげよ  
う。

（十の位くらい）  $1 + 2 + 1 = 4$

つまり、  $15 + 28 = 43$  ということだね！

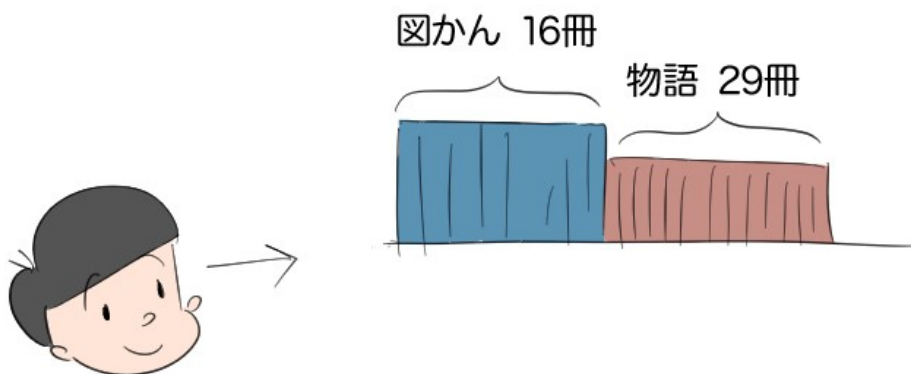


## 足す数と足される数を入れ替（か）えてみよう

教室（きょうしつ）には、図（ず）かんが 16 冊、ものがたりの本が 29 冊 あります。ぜんぶで 何（なん）冊の本が ある（あ）るでしょうか。

まず、「図かんが 16 冊」あるんだよね。その右がわに「ものがたりの本が 29 冊」あるとするよ。

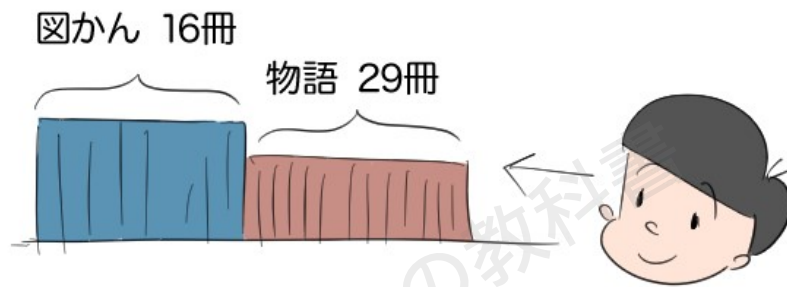
左からじゅんばんに見て、しきを つく（つく）ると・・・



「図かんが 16 冊」。そこに、さらに「ものがたりが 29 冊」あわせるので、 $16 + 29$  という しき（しき）になったよ。



では、こんどは右から見て、しきをつくってみると・・・



まず「ものがたりが 29さつ」あって、さらに「図かんが 16さつ」なので、 $29 + 16$  というしきになったよ。

「 $16 + 29$ 」と「 $29 + 16$ 」。

ちがうしきになってしまったけど、いいのかきになるよね。

では、それぞれの計算をじっさいにやってみよう。筆算（ひっさん）のやり方で、やってみてね。

足される数・・・	16	X	29
足す数・・・	+ 29		+ 16
答え・・・	45		45

足す数と足される数を入れかえて計算しても答えは同じになるよ。



$$16 + 29 = 45$$

$$29 + 16 = 45$$

どちらの計算で 考（かんが）えても だいじょうぶなんだね！

この「足す数と 足される数を 入れかえて 計算しても 答えが 同じになる」のは、たしざんの きまりの ひとつなんだ。

## まとめ

「 $15 + 28$ 」の 計算のとき、

$15$ のように、「足す」の前の数を「足される数」、

$28$ のように、「足す」の後ろの数を「足す数」と言うよ。

そして、 計算を するときには、 足たす数かずと 足たされる数かずの 順番じゅんばんは 入れかえても 答えは 同じに なるんだね。

### たしざんの きまりを つかってみよう

足す数と 足される数の 順番(じゅんばん)を 入れかえるのは、計算の「たしかめ」に 使つかうことができるよ！

「たしかめ」というのは、自分(じぶん)の 計算が まちがえてないか もう一度(いちど) ためしてみる ということだよ。

テストのときに、「たしかめ」をしっかり やれば、まちがいを 見みつけられるね。

